

地球環境子ども村だより

No.50

令和3年1月20日(水) 発行



令和3年も、穏やかなお正月を迎え、日本海側の大雪と共に大寒に入りました。寒中お見舞いとコロナお見舞いを申し上げます。また、本年もよろしくお願いたします。

さて、新型コロナウイルスの影響は続き、感染拡大した都府県に非常事態宣言が出されました。病気に苦しむ方、また、医療従事者の方、そして国民全体のつらい日々が続いています。一日も早い流行の収束と、人々が安心して暮らせる日常が戻ってきますようにと、祈る毎日です。子ども村でも感染予防を徹底しながら、皆様のお越しをお待ちしております。(=^・^=)

◎これまでの行事報告(11月~12月)

亀岡生き物大学 特別講座
「しし座流星群を観よう！」



11月17日(火)19時~20時半 参加者:24名

講師:植木 永子(環境学習指導員)

今年初めての星空に恵まれました。晴れているうちにと、星の観察を先にして、望遠鏡で土星、木星、火星と順番に見ていただきました。土星の環が見えて、喜ぶ子どもやお母さん、お父さんが抱き上げて望遠鏡をのぞかせた子は2歳だそうです。「みえた〜!」と元気に答えてくれましたが、ちゃんと見えていたのかな? ドーム内は狭いので、コロナ対策で1家族ずつ入っていただきました。

外では、いつもお世話になっている亀岡天文同好会 FAO のみな様と豊中天文同好会の新野さんがそれぞれ自慢の望遠鏡を設置、参加者に宇宙の楽しさを教えてくれます。

1時間ほど外で観察した後、教室で「流れ星のふしぎ」のミニ講座を行いました。「流れ星クイズ」には、子どもたちが全員、難しいクイズに挑戦しました。講座終了後も、参加者のみな様はもう一度外へ出て、時間の許す限り星空を眺めていました。

流れ星クイズ!



亀岡生き物大学 特別講座
「クリスマスランプを作ろう!」

12月5日(土) 午前10時~正午 参加者:15名

講師:植木 永子(環境学習指導員)

LED ライトとペットボトル空容器を使って楽しいランプを作ります。3Rのリユースやリデュースにつながる工作です。容器の底は、独特の構造が模様に見えるので、3色の光が乱反射してとてもきれいです。

まず、底にキリで穴を開け、次にランプの高さを決めカッターとハサミで切り取りました。切り口の処理と補強を兼ねて布テープを巻きました。更に、あかり窓を丸や四角に切り取り、それから、天使の人形やクリスタルを中央にテグスでつるしました。最後に、シールやビーズ、きらきらパーツを貼って完成です。裾にフェルトをあしらったり、木の実を付ける人もいました。それぞれ工夫を凝らして、飾り付けていきました。

講座の終わりに、クリスマスランプの点灯式をしました。暗幕を引き、教室の蛍光灯を消すと、七色に輝くランプが浮かび上がりました。「わー、きれい!」と歓声が上がりました。

クリスマス前後は、冬至の期間と重なり、一年で一番夜の時間が長い頃です。手作りのランプで、明るく楽しく過ごしてもらえたら、嬉しいですね。



天井にオーロラ?

トピックス 係の植木です。私の長年の夢はオーロラを観ること。昨年のお正月、思い切ってアイスランドへ行きました。肝心のオーロラは、着陸前の飛行機で上空からうっすら見えたきり(残念!)ですが、アイスランドの自然を満喫してきました。地球の割れ目「ギャオ」、間欠泉や壮大な滝、火山地形、ブルーラグーンと見どころ満載でお話したい位です。コロナの流行が終わったら、次こそは全天のオーロラを観に行きたいです。節約して貯金せねば!

亀岡生き物大学 特別講座
「平の沢池野鳥観察会」



9月12日(土) 午前10時～正午 参加者：17名

講師：八木 昭 氏 (鳥類保護連盟京都)

水鳥の道ロードパークに集合した参加者と共に、池に観察に出かけると、中池と下池には、遠くシベリアから飛来したカモの群れが羽を休めていました。早速バードスコープや双眼鏡で観察、すると青色の小鳥が木の間に見られたようで、「あれはカワセミです。」と八木さん、職員がバードスコープを合わせようとしている間に、飛んで行ってしまいました。

池の中央部のカモの群れは、遠くから見ると1種類のように見えますが、バードスコープで見ると、種類が違うようです。小さいお子さんも、のぞき込んでみてください。

今回は、接眼レンズにアダプターでスマホを取り付け、拡大して参加者に見てもらおうことが出来ました。八木さんも、「これなら説明しやすいな。」と、画面を使って特徴を詳しく教えてくれました。ここでは、マガモ、ヒドリガモ、ホシハジロなど、7、8種類のカモの仲間が見られました。

薄曇りで暖かい日で、帰りには池の上空にミサゴの姿も見られました。観察のまとめでは、沢山の野鳥の名前が出ました。シルバー世代も多くご参加いただき、「野鳥の種類がわかってよかったです。」と、とても好評でした。



図鑑のこの鳥かな？

亀岡市交流会館

「クライミング教室」(11月・12月)



11月は27日(金)夜間①、と28日(日)午後②③の3回、また12月は19日(土)午前①、午後②③の3回、京都府山岳連盟のみな様を講師に、クライミング教室がおこなわれました。2度目、3度目の受講者が増えています。思い思いに新しいルートに挑戦しました。講師の奥井さんの指導で、最初は登れなかったホールドに登れるようになっていきます。継続は、力なり、ですね！

次回のクライミング教室は、2月6日(土)午前①、午後②③と、行う予定です。

遊びに来たよ！来村報告(11月)

市立川東保育所

11月5日(木) 5歳児25名 引率8名

野鳥の森からまつぼっくり峠を越えどんぐり広場に出るコースを散策しました。坂すべりも楽しみました。

私立千代川幼稚園

11月6日(金) 2、3歳児 計16名 引率6名

どんぐり広場で、ドングリを拾って遊びました。3歳児さんは、お弁当の後、野鳥の森の探検をしました。

☆2月の催し紹介☆

冬の野鳥観察と巣箱づくり

ピオトープで野鳥の観察をして、巣箱を作ります。

日程：2月13日(土) 午前10時～正午

募集定員：10組(1組で1個巣箱を作ります。)

参加費：1組500円(巣箱の材料費)



冬の星座を観よう！

冬の星座と月と火星を観察します。

日程：2月19日(金) 午後7時～8時半

募集定員：20名

参加費：無料

服装：防寒着をご用意ください。



コロナウィルスの流行は続いています。子ども村でも、感染予防を徹底しながら、今後もいろいろな観察会や催しを開いていきたいと思っています。

折しも、今年の節分は2月2日、124年ぶりといえます。立春は3日、例年より一日早い春の訪れです。暦は天の気配を表すものとか、コロナウィルスの収束も間近いと良いですね。希望を持って、次年度の計画も作成中です。みな様も十分ご注意されて、健康で春を迎えましょう！

さて、次の行事や催しは、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。来村の折には、マスクを忘れずに！(文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL：0771-26-6100 Fax：0771-26-5002

Email：kodomomura@city.kameoka.lg.jp